

工学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④推薦コメント ⑤推薦者

バイオ・応用化学科

①**新版 きけわだつみのこえ：日本戦没学生の手記**

②日本戦没学生記念会監修 ③岩波書店

④「来週軍隊に入り、戦闘機の操縦を習って敵艦に特攻せよ。」と国に命令されたら、皆さんはどうしますか。この本は、国や家族を守れると信じて戦争で亡くなった、学問を修めて社会で活躍すべきであった人達の遺稿集です。この本を読んで、存分に勉強や研究ができる幸せをかみしめて下さい。

⑤大塚隆尚先生

①**ゾウの時間ネズミの時間：サイズの生物学（中公新書）**

②本川達雄著 ③中央公論社

④ゾウとネズミどちらが長生きでしょうか？長生きする方がトクでしょうか？動物にとっての時間はサイズで決まり、両者の心臓はともに20億回働いて息絶えます。

一見同列には論じられないモノの中にこそ本質が潜んでいます。科学の真理探究のため、本質を見極める能力を養ってください。 ⑤平野博之先生

機械システム工学科

①**石油最終争奪戦：世界を震撼させる「ピークオイル」の真実**

②石井吉徳著 ③日刊工業新聞社

④1970年代の「オイルショック」以来、30年ぶりの石油高騰である。本書は、再び台頭してきた「石油枯渇論」を正しく理解するため、「有限の地球資源とは何か」、その本質「ピークオイル」を枯渇と混同しないための啓蒙書である。一方、エコノミストは「ピークオイル」の真実を軽視している。30年前の学生時代、ガソリンとカップラーメンを求めて都内を徘徊した小生が、現代の学生諸君に警告の意味をこめて推薦する1冊である。 ⑤高見敏弘先生

①**粉飾の論理** ②高橋篤史著 ③東洋経済新報社

④技術者が知らず知らずのうちに粉飾に荷担している。ビジネス・コンプライアンスに違反する企業風土が世界中で蔓延している。本書は、序章・虚業ライブドア、1章・カネボウの罪、2章・メティアリンクスの罰、3章・監査法人の死で構成され、1990年土地バブルの崩壊、2000年ITバブルの崩壊によってもたらされた金余り経済とリストラ（構造転換）の社会で、サラリーマンが陥った闇の過程を克明にドキュメントした真実である。2章に岡山の著名なデパートが一瞬登場する。企業体験のない若者に、企業の別面を知ってもらうため、本書を推薦する。 ⑤高見敏弘先生

電気電子システム工学科

①**科学的に説明する技術：その仮説は本当に正しいか**

②福澤一吉著 ③ソフトバンククリエイティブ

④本書は「科学とは何か」「科学的説明とは何か」について理解を深めることを目的として書かれたものです。そして、なにより本書が伝えようとしていることは「科学的思考、手法の面白さ、楽しさ」です。皆さんがいつそ科学への興味を持たれることを切望します。（一部本文より）。 ⑤栗田満史先生

①**液晶、その不思議な世界へ：携帯電話、テレビ画面から始める現代の科学**

②小林駿介著 ③オーム社

④「どうして、液晶に絵が映るのか？」という原理や「液晶がディスプレイになるまで」の歴史を携帯電話やテレビ画面といった身近な素材を例に詳細に解説していて、初心者にも読みやすい。もちろん、専門的に液晶について勉強してみたい人にも読み応えがあります。 ⑤道西博行先生